

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教 科： 国語 科 目： 現代の国語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者：（1組：勝家、佐久間）

使用教科書：（ 第一学習社 『精選 現代の国語』 ）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】
- 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し効果的に表現する資質・能力を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を身につける。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			話・ 聞	書	読						
A	「『生きもの』として生きる」 【知識及び技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用している。 ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。 ・筆者の提言に対する考えを積極的に考え、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解させる。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解させる。 ・主張と論拠など情報と情報の関係について理解させる。			○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告		○	○	○	6
B	「『本当の自分』幻想」 【知識及び技能】 ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、粘り強く論理の展開を把握しようとしている。 ・積極的に本文中に根拠を求め、筆者の主張に対する自分の考えを、表現の仕方を工夫して書こうとしている。	・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解させる。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解させる。 ・主張と論拠など情報と情報の関係について理解させる。			○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告		○	○	○	6
	定期考査			○				○	○		1
C	話し方の工夫・待遇表現 【知識及び技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて、理解させる。	○			授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告		○	○	○	3

学期	F 論理分析【対比】「間」の感覚 【知識及び技能】 ・文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事柄が的確に伝わるように、表現のしかたを工夫する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。	・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解させる。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解させる。 ・主張と論拠など情報と情報の関係について理解させる。			○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告	○	○	○	5	
	E 「水の東西」 【知識及び技能】 ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・推論の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。	・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解させる。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解させる。 ・主張と論拠など情報と情報の関係について理解させる。			○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告	○	○	○	6	
	定期考査			○				○	○		1
	F 論理的な表現・情報源の明示 【知識及び技能】 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするなど、話の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで主張と根拠と理由付けの関係を理解し、学習課題に沿って話し合ったりしようとしている。	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて、理解させる。			○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告	○	○	○	3	

2 学 期	G 「現代の「世論操作」」 【知識及び技能】 ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、表現の仕方を工夫している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・接続の仕方に注目して文章の構成をつかみ、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・文章から主張と論拠を読み取り、表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめようとしている。	・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解させる。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解させる。 ・主張と論拠など情報と情報の関係について理解させる。	○		授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告	○	○	○	6
	定期考査		○			○	○		1
	I 「A I は哲学できるか」 【知識及び技能】 ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・推論の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、説明の仕方を考えとともに、表現の仕方を工夫している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・帰納法で推論する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして筆者の主張をまとめようとしている。	・文章を分析的に読み、仮説を積み上げて結論を導く論理の展開について理解させる。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握させる。 ・事柄が的確に伝わるように、表現のしかたを工夫させる。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解させる。	○		授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告	○	○	○	6
	J 「生と死が創るもの」 【知識及び技能】 ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、表現の仕方を工夫している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・接続の仕方に注目して文章の構成をつかみ、学習課題に沿って説明しようとしている。 ・文章から主張と論拠を読み取り、表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめようとしている。	・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解させる。 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解させる。 ・主張と論拠など情報と情報の関係について理解させる。	○		授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告	○	○	○	7
	定期考査		○			○	○		1
	K スピーチ・案内 【知識及び技能】 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解を深め使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。	・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて、理解させる。	○		授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告	○	○	○	4

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教 科： 国語 科 目： 言語文化 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者：（1組：勝家、佐久間）

使用教科書：（ 第一学習社 『精選 言語文化』 ）

教科 国語 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】
- 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し効果的に表現する資質・能力を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を身につける。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	A 古文入門 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 ・時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている。	・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解させること。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史・文化的背景などを理解させること。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解させること。			○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告	○	○	○	10
	定期考査		○				○	○		1
	F 随筆 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れたものの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。	・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解させること。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史・文化的背景などを理解させること。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解させること。		○		授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告	○	○	○	14
	定期考査		○				○	○		1

2 学 期	B 「砂に埋もれたル・コルビュジェ」 【知識及び技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用している語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現在と過去の交錯を、段落どうしの関係から読み取り、学習課題に沿って構成や表現の仕方を評価しようとしている。 ・叙述を基に登場人物の心情を読み取り、積極的に話し合おうとしている。	・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにするよう指導する。			○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告		○	○	○	4
	E 「夢十夜」 【知識及び技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「夢」という設定の中での判断やその根拠を捉え、内容及び作品世界を解釈して説明しようとしている ・『夢十夜』の他の話を積極的に読み、あらすじをまとめて発表しようとしている。	・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにするよう指導する。			○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告		○	○	○	9
	定期考査			○				○	○		1
3 学 期	D 歌物語 【知識及び技能】 ・歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉えている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。 ・学習課題に沿って異なるテキストを読み比べ、わかったことを積極的に伝え合おうとしている。	・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解させること。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史・文化的背景などを理解させること。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解させること。			○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告		○	○	○	9
	定期考査			○				○	○		1
	C 「羅生門」 【知識及び技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、学習課題に沿って、下人がどのように判断したか、説明しようとしている。	・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにするよう指導する。			○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告		○	○	○	7
3 学 期	G 漢文 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。			○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告		○	○	○	12
	定期考査							○	○		1

合計
70

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教 科： 国語 科 目： 論理国語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：（1組：勝家、佐久間）

使用教科書：（「高等学校 論理国語」 第一学習社 ）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し効果的に表現する資質・能力を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を身につける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			証・ 聞	書	読					
1 学 期	A 評論① 「天然知能として生きる」 「自他の「間あい」」 【知識及び技能】 ・本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者の考えが今後の自分の生き方にどのようなヒントとなり得るかを考え、自分の考えが立場の異なる読み手にも的確に伝わるよう、文章の構成や論理の展開を工夫して文章にまとめている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文を粘り強く読み、「天然知能として生きる」という筆者の提言に対する自分の考えを文章にまとめて、積極的に発表しようとしている。	・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握させる。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈させる。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める方法を理解させる。 ・文章の内容をもとに、自分の考えを論述したり発表したりする方法を理解させる。 ・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する方法を理解させる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにさせる。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深めさせる ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する方法を理解させる。	○	○		授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告	○	○	○	12
	定期考査		○			定期考査	○	○		1
	B 評論② 「「私」中心の日本語」 「日本人の「自然」」 【知識及び技能】 ・本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。情報を重要度や抽象度によって階層化して整理する方法について理解を深めて活用している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体例と主張との関係を整理して論理構成を的確に捉え、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討して文章の妥当性を吟味したうえで、筆者が主張する日本語の特徴を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文を粘り強く読んで、筆者の主張する日本語の特徴を理解したうえで、学習課題に沿って、ある場面における自分自身をさす語の選択について積極的に考え、自分の考えを進んで説明しようとしている。	・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握させる。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈させる。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める方法を理解させる。 ・文章の内容をもとに、自分の考えを論述したり発表したりする方法を理解させる。 ・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する方法を理解させる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにさせる。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深めさせる ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する方法を理解させる。	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告	○	○	○	12
	定期考査		○			定期考査	○	○		1
	C 評論③ 「手の変幻」 「越境する動物がもたらす贈り物」 【知識及び技能】 ・本文中の語句・語彙・文章の構成や展開についてよく理解し、得られた知識を活用できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文の内容や構成を的確に捉え、主張に説得力を持たせるための論展開について、多面的・多角的な視点から十分に評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文を粘り強く読み、本文の構成や論理の展開、表現の特徴を的確に捉えて、要旨をまとめようとしている。	・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握させる。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈させる。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める方法を理解させる。 ・文章の内容をもとに、自分の考えを論述したり発表したりする方法を理解させる。 ・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する方法を理解させる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにさせる。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深めさせる ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する方法を理解させる。	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告	○	○	○	5

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 国語 科目 言語文化演習

教 科： 国語 科 目： 言語文化演習 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：（1組：勝家、佐久間）

使用教科書：（「高等学校 精選 言語文化」 第一学習社 ）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】
- 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し効果的に表現する資質・能力を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を身につける。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			証・ 聞	書	読					
1 学 期	A 漢文（故事成語） 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告	○	○	○	12
	定期考査			○		定期考査	○	○		1
	B 漢文（史伝） 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・戦国時代を背景とした国の状況を知るとともに、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解いている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に史伝の特徴を理解し、たとえ話における論理を説明しようとしている。	戦国時代を背景とした国の状況を知るとともに、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解く。 ・史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・「先從隗始」の由来と現代の意味の違いを知り、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・積極的に史伝の特徴を理解し、たとえ話における論理を説明しようとしている。	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告	○	○	○	12
	定期考査			○		定期考査	○	○		1
	C 漢文（漢詩） 【知識及び技能】 ・表現の技法とその効果について理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の各時代によまれた漢詩を鑑賞し、人への思いがどのように表現されているかを読み取っている。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の文化に漢詩が浸透していたことに興味を持ち、中国の文化との関係について理解を深めようとしている。	・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・漢詩のきまりを理解する。 ・漢詩のきまりを進んで理解し、学習の見通しをもって漢詩を鑑賞しようとしている。 ・粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明しようとしている。	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告	○	○	○	5
	D 小説③ 【知識及び技能】	・現在と過去とが交錯する文章展開を把握し、各場面における登場人物たちの思いを読み取る。								

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教 科： 国語 科 目： 論理国語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組

教科担当者：（ 1 組：勝家、佐久間）

使用教科書：（ 「高等学校 論理国語」 第一学習社 ）

教科 国語 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し効果的に表現する資質・能力を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を身につける。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			経・聞	書	読					
1 学 期	A 評論① 「人間という中心と、それよりも（軽い命）」 「言語が見せる世界」 【知識及び技能】 ・本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者の考えが今後の自分の生き方にどのようなヒントとなり得るかを考え、自分の考えが立場の異なる読み手にも的確に伝わるよう、文章の構成や論理の展開を工夫して文章にまとめている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文を粘り強く読み、「天然知能として生きる」という筆者の提言に対する自分の考えを文章にまとめて、積極的に発表しようとしている。	・具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者の述べる人間観を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にししながら要旨を把握させる。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈させる。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める方法を理解させる。 ・文章の内容をもとに、自分の考えを論述したり発表したりする方法を理解させる。 ・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する方法を理解させる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにさせる。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深めさせる。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する方法を理解させる。	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告	○	○	○	12
	定期考査		○			定期考査	○	○		1
	B 評論② 「身体の個性性」 「いのちのかたち」 【知識及び技能】 ・本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。情報を重要度や抽象度によって階層化して整理する方法について理解を深めて活用している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体例と主張との関係を整理して論理構成を的確に捉え、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討して文章の妥当性を吟味したうえで、筆者が主張する日本語の特徴を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文を粘り強く読んで、筆者の主張する日本語の特徴を理解したうえで、学習課題に沿って、ある場面における自分自身をさす語の選択について積極的に考え、自分の考えを進んで説明しようとしている。	・主張に説得力を持たせるための論展開を捉え、筆者の抱く「いのち」の概念について考察する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握させる。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈させる。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める方法を理解させる。 ・文章の内容をもとに、自分の考えを論述したり発表したりする方法を理解させる。 ・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する方法を理解させる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにさせる。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深めさせる。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する方法を理解させる。	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告	○	○	○	12
	定期考査		○			定期考査	○	○		1
	C 評論③ 「ジェンダー化された身体の行方」 「ヒトの進化と現代社会」 【知識及び技能】 ・本文中の語句・語彙・文章の構成や展開についてよく理解し、得られた知識を活用できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文の内容や構成を的確に捉え、主張に説得力を持たせるための論展開について、多面的・多角的な視点から十分に評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文を粘り強く読み、本文の構成や論理の展開、表現の特徴を的確に捉えて、要旨をまとめようとしている。	・ジェンダーをテーマとした文章を読み比べ、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈し、両者を比較しながら考えをまとめる。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握させる。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈させる。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める方法を理解させる。 ・文章の内容をもとに、自分の考えを論述したり発表したりする方法を理解させる。 ・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する方法を理解させる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにさせる。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深めさせる。	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告	○	○	○	5

2 学 期	D 評論(4) 「目に見える制度と見えない制度」 「「である」ことと「する」こと」	・具体例と主張との関係、段落相互の関係を把握し、民主主義社会のあり方について理解を深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握させる。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈させる。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める方法を理解させる。 ・文章の内容をもとに、自分の考えを論述したり発表したりする方法を理解させる。 ・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する方法を理解させる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにさせる。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深めさせる ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する方法を理解させる。	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告	○	○	○	12	
	定期考査			○		定期考査		○	○	1	
	E 評論(5) 「漫罵」 「現代日本の開化」	・明治期の論説文における文語文体に触れ、時代背景をふまえながら筆者が主張する内容を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握させる。 ・根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈させる。 ・文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める方法を理解させる。 ・文章の内容をもとに、自分の考えを論述したり発表したりする方法を理解させる。 ・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する方法を理解させる。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにさせる。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深めさせる ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する方法を理解させる。	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告	○	○	○	12	
定期考査				○				○	○	1	
3 学 期	F 評論(6) 「ローカル鉄道の改革と地域振興」 「重装備農業からの脱却」	・イノベーションをテーマとした文章を読み比べ、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈し、両者を比較しながら考えをまとめる。 ・社会的な話題について書かれた論説文を読み、その内容を基に自分の考えをまとめる。 ・文章に関連した題材について、さまざまな観点から自分の考えを論述したり発表したりする。 ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにさせる。 ・文章の構成や展開のしかたについて理解を深めさせる ・情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する方法を理解させる。	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告	○	○	○	12	
	定期考査				○	定期考査			○	○	1
										合計	70